

委員会だより

< 6月17日(日) 17名出席 >

- 5 月度会計報告 (別資料配布あり;甲斐さん)
 - ◆ 一般会計: 当月収支はマイナス (-94,984 円) 「カトリック信徒傷害見舞金制度」加入 (8,275 円支出)
 - ◆ 建設会計: 照明器具 30,000 円支出
 - ◆ 愛の献金: カリタスより「イラク復興支援」への協力要請があり検討。⇒ 神父様の「関心をもってもらう為に」との意向を受け、「呼びかけ」を行なう。一般募金は委員長が呼びかけを行ない、6月末締切を目前に募金箱を設置。集まったお金に、「愛の献金」から3万円を加えて送金する。
2. 一粒会報告 - 竹内委員 (別資料配布あり)
 - 一粒会第5地区委員会議題より
 - ◆ 祈りのリレーは本年も行いたい
 - ◆ 「一粒会だより」は評判が良い。⇒ 今後の内容として、司祭召命に関わるエピソードや中和田教会が主任司祭長期入院に際しどんな対応をしてきたか、等が挙げられている。
 - ◆ 一粒会大会 (9/23、焼津市文化センター) のチャーターバスの件で打診あり。⇒ 7月末までに大会参加者及びバス利用者の仮集計を報告。
3. 「カトリック信徒傷害見舞金制度」(新しく出来た制度) について資料配布あり(甲斐さん説明)

これは、教会施設内で怪我をしたり事故にあわれた方へ見舞金を支払う制度。
支払い保険料は25円/人、教区すでに払込済。
(盗難保険についても神父様の了承を頂いて加入手続き済)
4. バザー実行委員会発足
 - 委員会 = 福島、甲斐 壮年会 = 下村、山本
 - 婦人会 = 七浦、太田 青年会 = 未定
 - ◆ バザー準備計画案(福島さんから提出あり)
例年より開催が1週間早く、非常にタイトな日程。第1回バザー委員会を6月15日(日)壮年会・婦人会終了後開催。
5. 電話機及びインターフォン設置の件
 - ◆ 二階の神父様私室と階下との連絡の手段として、何らかの方法を考えてほしいとの神父様のご希望があり、検討。
⇒ 新設の案も含め、委員長に一任。
 - ◆ 電話機の子機が故障したため補充の要あり。
6. 教会内掃除の件

前回から懸案であった掃除について検討。以下の方法が提案され、壮年会・婦人会で討議していただくことになった。

 - ◆ 台所、洋室、応接室の3部屋の掃除は、どなたかに専任でして頂く。(謝礼あり)
 - ◆ 婦人会による土曜日の掃除は今までどおりとし、日曜日の聖堂の一斉掃除は、①今までどおり全員で行なう ②地区別に分けて順番で行なう ③壮年会の方々で行なう
なお、今後のためにも外部に頼んではとの意見も出て、どの程度経費がかかるか調査してみる。(甲斐委員担当)
7. 香部屋のカーテンについて (典礼委員よりの報告)

委員長と神父様の了承を頂いて新品に取り替え済。(20年来使っており、使用に耐えない)
8. 日曜日の案内係の必要性について

最近、新しい方がミサに来られる頻度が高くなっているため、案内係を置いてはどうかとの提案が出された。⇒ 壮年会、婦人会で検討してみる。
9. 「庭をきれいにする会」活動について

庭の整備は教会の仕事として行ない、畑は趣味として考え、教会としての援助はしないことを確認。
10. 6月29日に幼児洗礼予定。
11. 第5地区福音宣教委員会報告 (小野(和)委員)
 - ◆ 6/8(日)午後・藤沢教会。出席: 神父様、小野(和)委員

壮年会だより

< 6月15日(日) 13名出席 >

1. 6/8 教会委員会報告 (詳細は委員会だより)
2. 7月の聖書朗読者
 - ◆ 7/6 山本さん ・7/27 美底さん ・8/3 宮崎さん
3. 審議事項
 - (1) 6/8 教会委員会からの要請事項
 - a. 教会掃除当番について
 - ◆ 外注を含めた掃除方法が委員会で検討される。委員会の指示により協力する。
 - b. 教会「案内係り」の新設について
 - ◆ 「思いやりと親切心」をモットーに、壮年会として東原さんをお願いする。
 - c. 初金ミサ
 - ◆ 壮年会員の出席率が低いことから、出来るだけ努力する。
 - (2) 壮年会関係
 - a. サロン運営について
 - ◆ 実施中の「サロン運営アンケート」の中間集約が行われ、事務局より「今後の進め方」(案)が提示され討議した。
 - ◆ 来月例会にて検討・集約予定。
 - b. 教会入口案内版整備について
 - ◆ 七浦さんのご努力で案内版(掲示板)が出来上がり(有難うございました)、教会入口に据付を6月29(日)ミサ後に行う。
 - ◆ ご協力出来る方はお願いします。(作業できる服装で。)
 - ◆ なお、壮年会年間行事計画にある「環境整備(草刈など)」も当日に行う。
4. 報告事項
 - (1) 教会物置修繕: 物置屋根改修が古田さんのご努力で終了しました。(有難うございました)
 - (2) 広町自治会一斉清掃協力: 6/8(日)竹内・福島さんのご努力で終了しました。(有難うございました)
5. 自由発言
 - (1) 「サロン運営アンケート」集約
 - ◆ 「サロン運営マニュアル」と「サロン案内方法」を作り、壮年会全員でサロン運営できるようにしたらどうか。



婦人会だより

< 6月15日(日) 35名出席 >

1. 委員会報告 (委員会だより参照)
 2. バザー関連

今回は、食堂に何を出すかを話し合いました。候補として、カレー、フルーツみつめ、味付け玉こんにゃく、マドレーヌが挙げられました。次回「こんにゃく」の試食をしたりしながら、さらに検討をすすめます。
 3. お知らせ事項
 - ① 6月26日(木) 横浜教区婦人同志会遠足(沼津)
 - ② 7月1日(火)10時、下村昭子様ご長男、故ペトロ下村広臣さん追悼ミサ
 - ③ 7月1日(火)午後、川崎中原教会から「聖ヨワキムとアンナ・高齢者の会」のみなさんが来られます。交流会をもちますので、参加できる方はお出で下さい。
 4. 例会のあと、不用衣料品の交換会を行ない、15,550 円の売上げがありました。
 5. 望月ふみ代さんが転居されました。

新しい住所はお知らせ記載のとおりです。連絡網のお書き換えをお願いします。
- 次回例会は7月20日(日) 当番はB地区です。

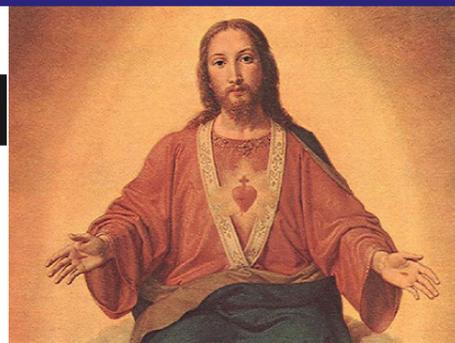


広報 なかわだ

第292号

7月の予定

委員会	7月 6日
壮年会、婦人会	7月 20日
サロン	7月 13, 27日
レジオ	7月 11, 18, 25日



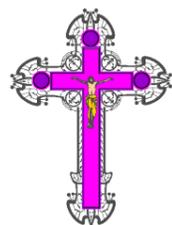
2003年 7月号

中和田カトリック教会
広報委員会発行
泉区中田北1丁目9-1
Tel. (045) 803-6141
平成15年7月6日



こんにちは、みなさん

ジャック グルニエ神父



一人のカナダ人が中和田教会へやってきました…。

わたしは皆さんと関わりを持った中でキリストを学ぼうという気持ちで泉区に喜んで移りました。と同時に、『主任』という使命を受けていますので、主任である私には、教会全体の中に生ける神との豊かな出会いが益々実現するように活動する役割が与えられています。

わたしの心にはそういった計画があります。けれども、それは先ず聖霊ご自身の計画だと知らなければ、わたしの力では何もできないと確信もします。同じような召し出しを身に受けた皆さんと手をつないで、わたしもただ神に寄り頼みつつ歩んでいきたいと思えます。

立場をもう少し明確にするために、自己紹介をしてみましよう。わたしがカナダ・ケベックシティー司教区の教区司祭として叙階を受けたのは、今からさかのぼって28年余り前になります。しかし、わたしには、もともと自分の所属する教区の中ではなくて、カナダ・ケベック州の司教達が別に1921年につくった「ケベック外国宣教会」(ケベック会 = MEQ)というグループの一員として、他の国に渡って活動したいという望みがあったわけなのです。それに従って、教区司祭の身分を保ちながらも、先に述べた会のメンバーとして、1976年の7月に来日することになりました。

ところで、そのケベック会では、去る5月に1ヶ月にわたって『総会』という集いが行われたばかりなのです。会の発足以来11回目の総会になっていますけれども、今後わたしは、その仲間と心を合わせて、次の基本方針を重んじて歩んでいこうと思っています。その方針とは、「交わりの中でそれぞれの使命を活かそう」と総会の中でまとめられたものです。実はケベック会には、様々な文化出身の宣教者たち(司祭も、助祭も、また男女問わずにいわゆる「信徒宣教者」もいる)がいて、「みな一緒に宣教に於ける使命を果たしています。わたしたちは、やり方を新たに工夫を入れたうえで、今の世界に向かって多くの人々へイエスと教会の色々な顔を紹介して行こうという深い望みを表してゆきます。」(総会のメッセージより)

いまわたしは、そういった望みを抱きながら、高野助祭をはじめ、また皆さんと共に、永遠の「国」へ導く道しるべをよく味わっているところだと本当に感じています。



本物の子供

鈴木 富雄

先日、ニュージーランドの友人が次のようなE-Mailを送ってきました。抜粋したものをここに紹介したいと思います。

『現代の官僚や取締官が、もし今、1940、50年代の子供の生活を見たら「何でこんなに危険がいっぱいなのに生きてられるのだろう」と思うかもしれない。

我々が始めて手にした玩具は鉛がベースになっていてペンキがたっぷり塗ってあった。それを、ペチャペチャと嘗め回した。

自転車に乗ってもヘルメットなどはかぶらなかった。

自動車もシート・ベルトやエアバッグなどはなかった。助手席に座れるのはご褒美みたいなものだった。

ペット・ボトルの水などなく、庭のホースから直接水を飲んだ。味はたいして変りやしない。

中身がはみ出しそうな大きなサンドウィッチをほおぼり、砂糖がたっぷり入った甘い飲み物をがぶ飲みしても、肥満を心配する子はいなかった。みんな良く外で遊びまわっていたからだ。

一本のピンを3～4人の友達で飲みまわした。そんな事で病気になって死ぬやつはいなかった。

廃材を使って何時間もかけてゴーカートのような物を作り坂道を猛スピードで下り、途中でブレーキが無いことに気が付いた。そのようにいろいろな問題を解決する事を自然に学習した。

朝、家を出て1日中遊び歩き、夕方日が沈む前に帰りさえすれば、誰にも心配される事は無かった。

当時はブレスーションやゲームボーイなどのビデオゲームなんか無かったし、TVも数チャンネルあるだけ。ビデオ映画、携帯電話、パソコン、インターネットのチャットルーム等勿論無かった。でも友達がたくさんいた。いなければ外に行って探してつくった。勿論自分の足で歩いて出かけた。ママに車で送ってもらう事など無かった

ゴム跳び、石蹴り、ボール投げ(硬球が体に当たっていたかった)、木から落ちて骨を折ったり、歯が欠けたり、でも同じ間違いを二度としなかった。

友達と殴り合いの喧嘩をして傷をつくっても、しこりは残らなかった。勿論 裁判沙汰などになることは無かった。

我々は自由だった。ただし結果は問われた。

我々の世代は世界の最も優れたリスクテカや、様々な問題を解決する人たち、発明家などを世に送り出した。この50年の間に実に多くの技術刷新が行われ、新しい事が生まれ育った。

我々には自由があったが、責任は持たされた。成功も失敗もあったが、それと向かい合い処理する能力を学んだ。』と彼は書いてきている。

私も同じ思いでいる。

管理社会の中で学び生きている現代の子供達は、確かに知識は我々の子供の頃と比べたらはるかに豊富だと思われる。しかし少子化が進むにつれ子供達はますます管理社会の中に組み込まれていく事だろうし、ますます頭でっかちになっていくに違いない。

これは我々大人達に責任があると思う。我々は問題と向かい合い処理する能力を身に付けているはずだ。今こそその能力を発揮する時ではないだろうか。

最後にこのニュージーランドの友人は次の様に結んでいる。<おめでとう、きみは**本物の子供**の一人なのだ>と。非常に責任を感じる一言である。



ミサ当番表 (2003年 7月、8月)

月/日	主 日	朗読、奉納	侍 者	オルガン	月/日	主 日	朗読、奉納	侍 者	オルガン
7/6	年間第十四の主日	壮年会	下 迫	保 科	8/3	年間第十八の主日	壮年会	下迫(瑤)	岩 淵
7/13	年間第十五の主日	青年会	石井(大)	岩 淵	8/10	年間第十九の主日	青年会	下 迫	森 田
7/20	年間第十六の主日	婦人会B地区	石井(拓)	森 田	8/17	年間第二十の主日	婦人会役員	石井(大)	保 科
7/27	年間第十七の主日	壮年会	石 崎	保 科	8/24	年間第二十一の主日	壮年会	石井(拓)	岩 淵
					8/31	年間第二十二の主日	婦人会役員	石 崎	森 田

当番の方は10分前には集合して下さい。ご都合の悪い方は典礼委員(萩原氏: TEL 802-6258)迄お申し出下さい。

聖フランシスコの足跡を訪ねて (1)

山田 考信

このツアーに参加したのは昨年(2002年)の3月22日～31日だったので、それからもう早1年になる。この時はちょうど聖週間と重なっていたこともあり、とても意義深い旅となった。このツアーは福田神父様が団長で、神父様の知人、友人を中心に添乗員を含め19名の旅となった。私は福田神父様とは高校時代の同級生で、私が教会に行くようになったのも、高校時代に福田神父様に誘われたからだった。彼は高校2年の時に神学校に行くために退校し司祭の道に進んだのだが、現在は瀬田にある聖アントニオ神学校の教授を務めている。

旅のコースはミラノを出発し、ローマまでの全行程を同じバスで周り、“聖フランシスコの足跡”を辿り巡礼する10日間の旅である。私にとって巡礼の旅は今回が初めてであり、期待に胸をふくらませ参加したのだった。

3月23日(土)

ミラノでは、サンタ・マリア・デッレ・グラッツィエ教会でレオナルド・ダ・ヴィンチの「最後の晩餐」を見ることができた。この有名な絵は教会の食堂にあり、湿度が高いため相当傷んでいたものを修復し、今では見事な色彩が蘇っていた。現在は入場制限を行い厳重に管理されている。



次にドゥオモ大聖堂を訪れた。天を突くばかりの135本の尖塔が真に壮観だった。内部は十字型になっており、ステンドグラスが美しく幻想的で、ここの地下小聖堂で我々だけのミサをあげた。

次はパドアの聖アントニオ大聖堂を訪れた。聖アントニオは聖フランシスコの弟子と共に苦勞して宣教を行った一人である。ここには聖アントニオの舌が今も腐らずに保存されている。遺体全体が腐敗していない聖人は沢山いるが、舌だけというのは聖アントニオだけで、聖人がいかに神のことを良く述べ伝えたかを示している。

今日の宿は水の都ヴェネツィアである。水上タクシーに乗り換え、サンモーゼ教会の横にあるホテルに泊まった。

3月24日(日)

朝8時、宿の前にあるサンモーゼ教会で枝の主日のミサを行った。小さい教会だが内部は彫刻、絵画とも素晴らしい。それから聖マルコ大聖堂に行った。サンモーゼ教会から10分ほど歩くと、広場の奥に大きなクーポラが立ち並ぶ大聖堂が姿を現した。ここはペトロの弟子で福音史家である聖マルコの墓がある教会である。9世紀から市民が数世紀にわたり築き上げた建物で芸術的にも素晴らしいものがある。

バスに乗り換え、フィレンツェに向かった。街に入るとまず高さ94mの鐘楼をもつヴェッキオ宮殿が目に入ってきた。ここはフィレンツェの中心街、宮殿前のシニョーリア広場にはダビデ像のレプリカ立っている。その横にウフィッツィ美術館がある。ここにはメディチ家が収集したコレクションが展示され、ボッティチェリの「ヴィーナスの誕生」、「春」やレオナルド・ダ・ヴィンチの「受胎告知」、ミケランジェロの「聖家族」等、素晴らしい世界の名画が数多くある。

お知らせ

洗 礼 6月29日(日)

大天使聖ミカエル 美底秀紀ちゃん(美底様長男)
トマス アクイナス 保科貴大ちゃん(保科様長男)

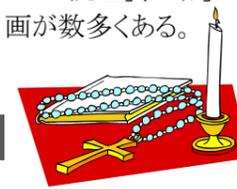
住所変更

望月 忠・ふみ代様
〒245-0067 戸塚区深谷町1252-33
電話 045-851-4152

転 出

石井政仁さん(川崎・中原教会へ)
下山秀子様(戸塚教会へ)

《レジオ・マリエからのお誘い》



レジオ・マリエは、信徒の模範であるマリア様に倣いながら個々の召命を生きるために、毎週金曜日10時から集会をもちながら、祈りや分かち合いをしています。

みなさまご存知のように、今年は教皇様によって「ロザリオ年」として定められ、ロザリオの祈りが勧められています。

そこで、残り少なくなった「ロザリオ年」の終わりに向けて、会員でない方々とも一緒にロザリオをお捧げできたらと思い、お誘いする次第です。

「初金曜日」を除く毎週金曜日10時からの私たちの集会に、お気持ちのある方はどうぞ気兼ねなくご参加ください。一緒にロザリオを祈りましょう!